

将来ビジョン

将来像

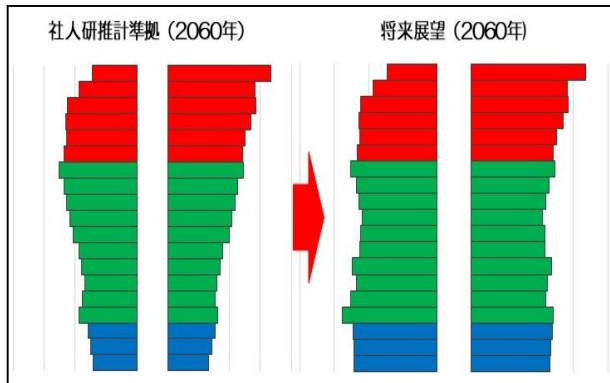
松江らしさに磨きをかけ

『選ばれるまち松江』

の実現をめざす

人口減少問題の克服

2060年に約18万人を確保



(社人研推計では15.5万人まで減少する見込み)

市民運動

◆2つの挑戦

挑戦1
出生数2,000人／年をめざす

挑戦2
社会増270人／年をめざす

重点項目

- 『若者・女性がもつと暮らしやすいまち』をめざして
- ◇若者・女性の意見等を施策へ反映する仕組みづくり
- ◇魅力ある雇用の創出
- ◇若い世代の出産・子育ての希望を叶える取組
- ◇一人一人が個性と多様性を尊重される地域社会の実現

○新しい時代の流れを力にする

◇持続可能な開発目標(SDGs)の理念を踏まえ、SDGsを原動力とした地方創生の推進

◇Society5.0の推進

5つの基本目標と数値目標／13のプロジェクトと主な取組

基本目標1 若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用を創出する

雇用創出数	690人増	(直近5年：581人)
一次産業新規就業者数	45人／年増	(直近5年：38人／年)
観光消費額	75,000百万円	(平成30年 66,962百万円)

- ① きらりと光る元気な企業群づくりプロジェクト
 - ・中小企業等の設備導入やIT・IoT・AI導入支援
 - ・Ruby人材の育成
- ② 農林水産業の成長産業化プロジェクト
 - ・地産地消の推進、担い手の育成、農山漁村地域の維持・活性化
 - ・先端技術の活用、新たな商品開発支援、域外販売の推進
- ③ 観光産業のバージョンアップ・インバウンド強化プロジェクト
 - ・夜間の魅力創出と消費活動の喚起
 - ・松江ブランドの強化、効果的なプロモーションを行う組織の構築
- ④ 文化の多様な価値の創造と好循環プロジェクト
 - ・文化の価値の理解と発展、活用、創造

基本目標2 松江の魅力に磨きを掛け、新しい人の流れをつくる

Uターン者数	1,445人	(平成30年度：1,195人)
市内企業就職高校生	266人／年	(平成31年：206人)
大学生等	435人／年	(平成31年：395人)
松江ファンクラブ会員数	10,000人	

- ① 拠点化推進プロジェクト
 - ・企業の本社機能や研究機能の誘致・地方拠点化
 - ・首都圏大学との連携による地元産業の魅力化
- ② 人材還流・松江暮らし推進プロジェクト
 - ・シティプロモーションの強化
 - ・Uターン相談者の支援体制の構築
- ③ 関係人口の創出・拡大プロジェクト
 - ・松江のファンクラブの戦略的取組
 - ・ふるさと寄附の推進
 - ・松江モデルの働き方の提供とテレワークの受入れ
- ④ 未来を担う次世代“人財”育成プロジェクト
 - ・子どもの学力向上
 - ・市立女子高等学校の魅力化

基本目標3 一人ひとりが個性と多様性を尊重され、誰もが活躍できる地域社会をつくる

住みやすさの実感割合(20~30代)	95%	(令和元年度：77.6%)
子育て支援策の満足割合	80%	(令和元年度：64.5%)
女性の就業率	88.3%	(平成29年：85.1%)

- ① 結婚支援の充実と子育て環境日本一実現プロジェクト
 - ・結婚、出産・子育ての相談支援体制の強化
 - ・子育て環境の充実
 - ・まっえワーク・ライフ・バランス推進宣言の促進
- ② 女性の活躍促進、誰もが活躍できる地域社会の実現プロジェクト
 - ・女性が個性と能力を十分に発揮することができる地域づくり
 - ・障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり
 - ・多文化共生のまちづくりの推進

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

住みやすさの実感割合	95%	(令和元年度：82.2%)
健康寿命(65歳平均自立期間)	女性21.66年	(平成29年度：21.05年)、男性19.06年(平成29年度：18.00年)

- ① 健康都市まっえ・スポーツによるまちづくりプロジェクト
 - ・がん対策の推進
 - ・全世代の健康づくりの推進
 - ・地域と連携した介護予防の推進
 - ・地域スポーツコミッションなどの体制整備
- ② 松江の魅力をもつ環境・都市デザイン推進プロジェクト
 - ・次世代の環境活動リーダーの育成
 - ・歴史的風致の維持向上
 - ・エリアリノベーションの推進
 - ・自然環境の保全・活用
 - ・公共交通網の維持・確保
 - ・新幹線ネットワーク整備推進活動
- ③ 国土強靱化・安心安全なまちづくりプロジェクト
 - ・災害に強いまちづくりの推進(インフラ、新庁舎等)
 - ・自主防災組織などの地域防災力向上

基本目標5 中海・宍道湖・大山圏域の連携強化により、日本海側の拠点をつくる

※中海・宍道湖・大山圏域市長会圏域版総合戦略に準じる。